



『協働通信』は、「那覇市協働によるまちづくり推進協議会 ～なはおせっかいワクワク隊～」の行う事業の一環として、企画広報委員会が発行しています。

## 「協働に思う」



みなさんこんにちは。協働大使の原国政法です。今日は、協働大使として思うことをざっくばらんに書かせていただきたいと思います。

那覇市の協働大使も現在679名になりました。この調子で行くと、1,000名も近い将来達成するかもしれません。そこで、協働大使は、どんどん増えていきますが、協働大使の役割は何なのか。協働大使に、求められているのは何なのかを、いま一度考えて見るのも必要ではないでしょうか。

那覇市協働によるまちづくり推進協議会では、これまで、「子ども部会」「環境部会」の活動などを行ってきましたが、今のところ一部の皆さんの参加にとどまっていたように思います。今年度は、各地区での「ゆんたく会」が好評で、また開催してほしいとの要望もあるくらいです。この事業は、みなさんのニーズにあったところがよいのでしょうか。

ところで、協働大使は、それぞれの分野でのエキスパートの方々の集団です。これらの優れた集団が、一致団結すれば、何でもできると思います。そこに、協働大使の必要性があると思っています。ですから、みなさん一人ひとりが、協働大使として、地域のために、那覇市のためにできることを提案していただきたいと思っています。多くの協働大使が集えるようなイベント、お互いを知り合うようなイベント、自分の職場や仕事内容を知ってもらえるようなイベント等・・・みなさんの中には、このような事を望んでいる方が多いのではないのでしょうか。協働大使として、みなさん一人ひとりが活躍できるような「那覇市協働によるまちづくり推進協議会」でありたいと思っています。みなさんが協働大使としてやってほしいこと、やりたいことなど、皆様の積極的な提案をお待ちしています。

(副会長 原国政法)

## ☆ 環境分野の活動を振り返って ☆

これまで6年間、那覇市の小学校で環境出前講座を開講させて頂きました。きっかけは那覇市民協働大学の実践講座ということでしたが、大学が終わっても出前講座の活動は、続けていきたいというメンバーの気持ちがあって継続しているところです。▼1年に2校で開講する程度の緩やかなペースですが、続けていくことによって得られる何かがあると思いますし、それを探し求めていくことに喜びを感じています。また、何よりも私たちの環境出前講座では、実際に生ごみをギュッと搾ることを体験してもらうのですが、些細なこの行動のひとつひとつが、ごみ減らしの一助になるということをお小生の素直なところに留めておくことができるのであれば、きっと彼らは、実生活の中で環境のことについて配慮する人となってくれるのではないだろうかという期待を抱いてしまいます。▼出前講座を終えるといつもその期待に胸が膨らむものです。出前講座の時の小学生らの元気な声や笑顔それが、私たちにとって元気の源となっているのです。▼これからも環境について私たち自らも学び続け、元気に楽しくこれまでの活動が継続できることを願います。また、これからは新しいことも加味しながら活動をバージョンアップしていくこともありなのかもしれません。

(記：協働大使 環境ゆんたく会：宮里多美子)





# ★ おせっかいワクワク隊の活動あれこれ ★

## 小祿地区ゆんたく会のご報告!!



去る 2 月 25 日 (土) 10 時~12 時半、那覇市総合福祉センターにおいて「小祿地区ゆんたく会」が開催されました。小祿地区の協働大使、自治会長、民生委員児童委員の皆さん、そして今回も大使を中心にファシリテーター・ライターを依頼し、総勢 65 名のゆんたく会となりました。

当協議会が主催する地区ゆんたく会は昨年からの首里、真和志に続き 3 カ所目です。これまでと異なる点は、グループ内のメンバーが、地域や活動内容、所属団体等の違う人同士で敢えて組まれたことです。これが功を奏し、いつもと違う顔触れで楽しく活発な意見交換ができました。▼前半は、那覇市社会福祉協議会事務局長の山城章氏に「那覇市の地域包括ケアシステムの構築~介護や健康に関わる制度や地域の現状について~」と題し講話を行っていただきました。私たちが普段の生活のどこかで、例えば困っている人や困っていきそうな人に会った時、誰もが勇気を持って声をかけられること。そんなおせっかいが地域包括ケアの原点ではないかとお話されました。▼後半は 8 グループに分かれてワークショップ&ゆんたく会。各々が感じる地域の課題や現状、その中で何ができるのかを共有し、緩やかな繋がりを作りました。▼小祿地区の特徴として、既存の郷友会・自治会とそれ以外の住民の自治活動のあり方が度々問われます。小祿はかつての大戦で集落の多くを軍用地や飛行場用地として接収され、他所に住むことを余儀なくされました。そこで昔ながらの共同体の崩壊を防ぐため、現在のような郷友会的自治会ができたという歴史的背景があります。こうした郷友会組織の活動を尊重しながら、広く地域として活動ができる場、例えば小学校区まちづくり協議会などの新しいコミュニティが必要だという意見が多々ありました。▼今後もこのゆんたく会を継続したいという声を受け、速「小祿を知る・小祿どうむらま~い」を企画し、次へと繋げます。

(記：広報企画委員 上原仙子)



## 企画広報委員と運営委員会について

本年度から事務局の負担を少しでも軽減しようという趣旨で、まずは企画・広報を事務局から切離して取組み、人員や力量が備わった時点で各々の業務を見直していく予定をしています。活動の中心は、どのようにすれば協議会や協働大使の活動が皆さんに伝えられるのか、いわゆる広報活動の課題解決です。協働通信の内容の充実とタイムリーに情報が伝わることを主眼に、ブログや SNS の導入を整備することにより、誰でもが手軽に情報共有出来るよう、次年度は「みやらび・ニーセータースマホ講座」を開設したいと考えています。また、月に一度の運営委員会では、運営委員 24 名が、月次の報告や今後の取組み等を真剣かつ楽しく協議しております。今後この協議会が有効に機能し意思決定が迅速にできる会になるよう更なる論議を重ねて参りたいと考えております。

また、協働大使の皆さんのご指導ご鞭撻をお願い致します。(副会長・運営・企画広報委員 大浅田 均)



# ★ 協働大使の活動あれこれ ★

## 民生委員児童委員の活動を振り返って



名嘉山さんは、地域のボランティアとして活躍中ですが、真和志第四民生委員としては 25 年間役目を担い今回ご卒業されました。今後は相談役としてお手伝いを予定されています。▼地域活動として、宮城原ひまわりの会でふれあいデイサービスを始めて 18 年目。市内 4 番目に活動を開始した老舗です。(毎週水曜日 10:00~12:00 宮城区自治公民館)そして地域見守り隊として月に 1 回、第 3 金曜日に『200 円食堂』を開催中。今年度、長年の活動を評価され、厚生労働大臣賞、2 月には沖縄県社会福祉協議会より「優良民児協」として会長賞を受賞されました。

子どもの P T A 活動を卒業して落ち着いた頃、『民生委員にならない?』と誘われました。最初は戸惑う事も多く、先輩方に相談しながら一つ一つ一人一人に向き合ってきました。福祉の知識もありましたが、3 年を過ぎた頃からやっとその役割が見えてきて、経験を積み自信もついてきました。若い頃の経験(子育て・嫁姑・介護)が役に立ったと感じています。ひまわりの会の活動や地域見守り隊の活動も、みんなで楽しく笑顔でやっています。ボランティア活動を『させていただいている』その言葉が素直に言えるようになりました。

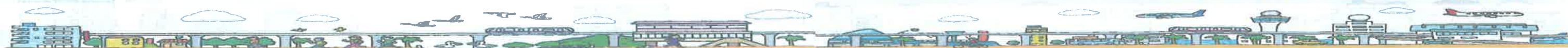
今、向き合う事があって忙しい方も、落ち着いたら是非地域活動、特に民生委員に挑戦していただきたいと思います。ボランティアで社会参加する事で視野が広がりますよ。地域活動をする、住み慣れた地域がまた別の視点で見えてきて、仲間もできます。次の世代を担うみなさんに、お話ししたい事、お伝えしたい事がまだまだたくさんあります。是非民生委員活動、地域ボランティア活動へご参加ください。お待ちしております。(インタビュー：福村 亜矢子)

## ☆ 街角ガイドと「まちま~い」してみませんか? ☆

ハイサイ NPO 法人那覇市街角ガイド会長又上江洲仁勇ヤイビーン 那覇市まちづくりの基本理念スローガン「なはが好き」、この好きになる思いを街角ガイドがお手伝い出来ればと考えております。協働によるまちづくり推進協議会が進める「協働大使をつなげる活動」と連携し歴史文化の薫る那覇まちを私ども那覇市街角ガイドがご案内し、共に那覇市のまちづくりに寄与できることを切に願っております。ユタシクウニゲーサピラ。



NPO 法人那覇市街角ガイド 会長 上江洲 仁勇 さん





## < お知らせ・募集 >

### 那覇市地域包括支援センター古波蔵より講話のお知らせ

来る3月18日(土)午後2時~4時に古波蔵4丁目にある「ドリームワークそてつ」に於いて、『「体づくりと災害知識」~地域がつながり、元気になる~』の講話を開催いたします。

市民防災室から災害時についての知識と協働大使でもある作業療法士より、日頃行える介護予防運動の実技を通して、地域住民がつながる取組を行います。

定員50名、締め切りは3/10(金)12時です。先着順の受付となりますので、みなさまお誘いあわせの上お申込み下さい。お待ちしております。

お申込み・お問合せ先：那覇市地域包括支援センター古波蔵 電話 855-6254 (担当：赤嶺)



### 那覇市地域包括支援センター古波蔵よりお知らせ2 ~相談協力員について~

みなさん「相談協力員」をご存知ですか？ 那覇市では、各地域包括支援センターと連携し、地域の高齢者を見守り訪問する『相談協力員』を募集しています。高齢者の孤独を防ぎ必要な支援へ繋ぐ事で、「誰もが暮らしやすい地域づくり」へご協力いただける方をお待ちしております。

### 牛乳パックを回収しています！

桃原章子さんは、障がい者の自立支援として、牛乳パックのリサイクルによる商品を開発販売と奮闘中ですが、協議会では、材料となる牛乳パックの回収に協力しています。

関心のある方はご連絡ください。ご協力よろしく願いいたします。

連絡先：090-1799-4208  
(協働大使 桃原章子)



### ゆんたく会

#### 子ども分野

毎月第4木曜日  
15時~16時半

#### 環境分野

毎月第2土曜日  
14時~15時半

子ども・環境分野ごとのゆんたく会を協働プラザで毎月開催しています。どなたでも参加できますが、日時や場所が変更になることもありますので、事前に事務局までお問合せください。

**メール登録にご協力ください！** ハイタイ！現在637名の大使の皆さまへ協働通信などをお届けしておりますが、534名の方へ郵送させていただいております。発送作業の負担軽減及び経費削減の為にメールアドレスの登録にご協力いただきますよう、お願いいたします。

事務局アドレス：[kyoudoutaisi@nirai.ne.jp](mailto:kyoudoutaisi@nirai.ne.jp)

(事務局 福村)

【連絡先】那覇市協働によるまちづくり推進協議会 事務局

TEL/FAX 955-2282

